

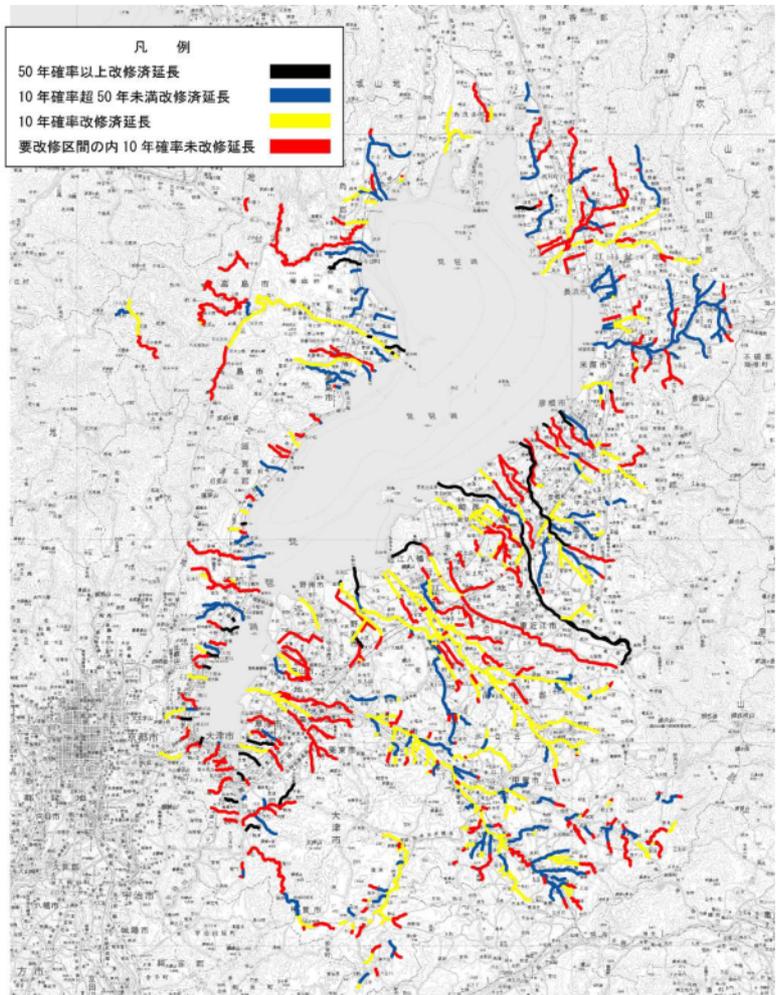
近代治水



矢倉川

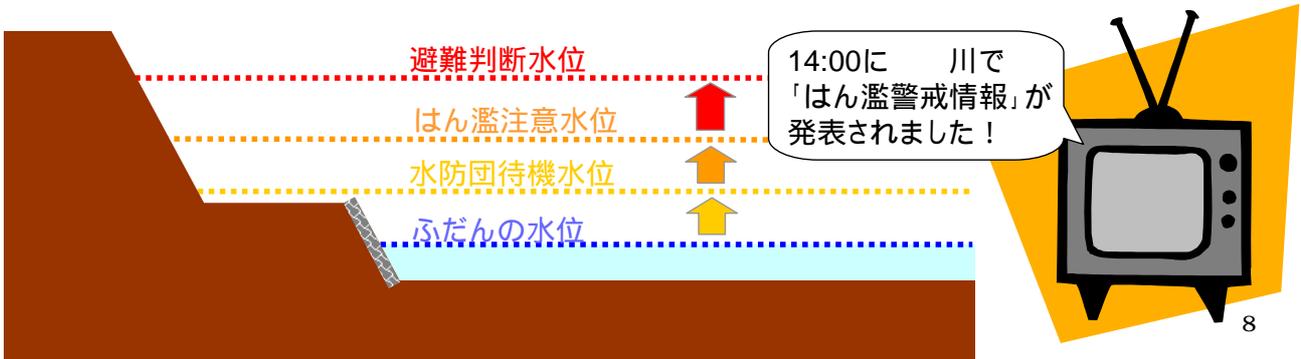


青土ダム



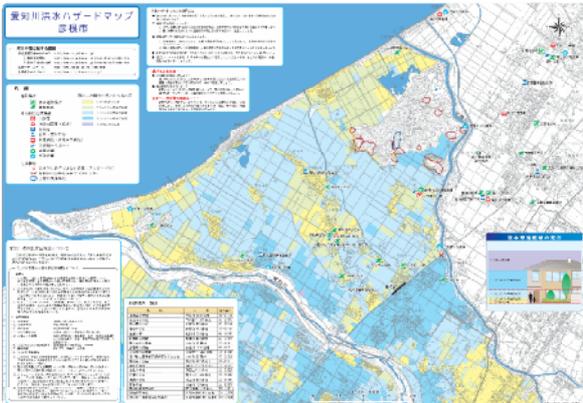
水害との闘い(危機管理)

実施事項	概要	対象河川
洪水予報の発表	彦根地方気象台の降水量予測と、滋賀県の基準観測所における水位予測の情報を両者が共同で洪水予報として発表。 洪水予報は、関係機関等に伝達するとともに、報道機関等を通じて流域住民に伝達。 はん濫注意情報、はん濫警戒情報、はん濫危険情報、はん濫発生情報	日野川、姉川、高時川、野洲川上流、杣川、琵琶湖(以下、直轄河川)野洲川、草津川、瀬田川
避難判断水位情報の発表	水位周知河川において、沿川住民の避難勧告等の目安となる水位(避難判断水位)を設定し、河川水位がこの水位を上回ったときに、 はん濫警戒情報 を発表。	愛知川、姉川上流、安曇川(以下、直轄河川)草津川



水害との闘い(危機管理)

実施事項	概要	対象河川
水防警報の発表 水防区域の公表	対象とする量水標が一定の水位(通報水位・警戒水位)に達し、増水の恐れがあるとき、水防警報(準備・出動)を発令し、関係機関などに水防活動の準備や出動を要請。 洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要とされる「重要水防区域」を公表。	野洲川上流、杣川、日野川、愛知川、姉川、高時川、安曇川(以下、直轄河川) 野洲川、草津川、瀬田川
浸水想定区域図の公表	洪水予報河川、水位周知河川等において、氾濫が発生した場合の想定浸水範囲および想定浸水深を示した図を公表。	H18末現在9河川公表 H19年6河川作成 H20年2河川作成予定



洪水ハザードマップ

浸水想定区域図をもとに、市町が避難場所や避難時の注意事項などの情報を加え、各戸に配布。

また、多くのマップは、インターネットでも閲覧可能。

滋賀県では、現在(平成20年3月9日)までに、26市町中12市町で配布。その他の市町でも作成中。



水害との闘い(危機管理)

実施事項	概要
雨量水位情報の提供	【滋賀県土木防災情報システム】 ・専用回線を用いて情報収集・FAX配信。 ・インターネット(PC用・携帯電話用)での情報提供
水防訓練 洪水対応演習 水防研修会	【水防訓練】 ・建設管理部持ち回りで毎年5月に実施、河川の破堤を想定した実地訓練 ・関係市町の消防団(水防団)、関係機関による水防工法の実演、炊き出し、救助活動などを実演。 【洪水対応演習】 ・国・県・関係市町による情報伝達訓練。 【水防研修会】 ・県・市町水防担当者への研修会を実施。
水害に強い地域づくり協議会	洪水被害の回避・軽減を目指して、国・県・関係市町により、流域・圏域ごとに具体的な流域対策を検討。 平成19年度的主要テーマ ・琵琶湖湖南流域 - 土地利用、まちづくり ・湖北圏域 - 広域避難、地域防災力 ・東近江圏域 - 次年度に向けて調整中



携帯電話画面イメージ



水防研修会



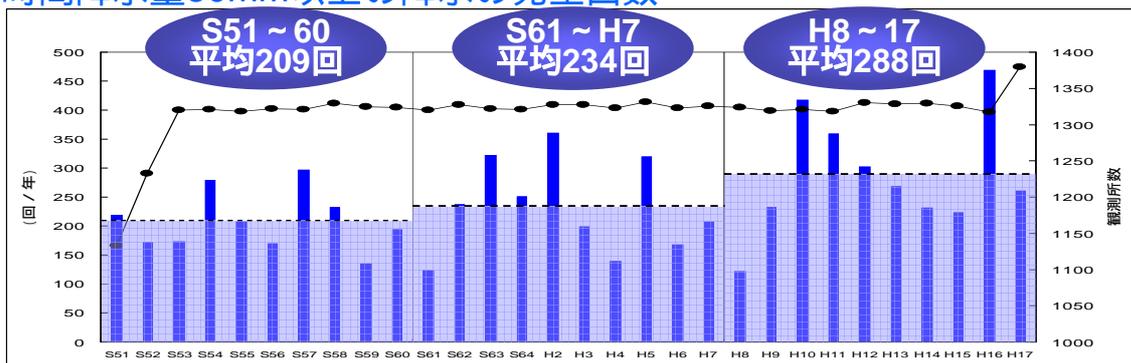
水害に強い地域づくり協議会

2. 治水政策の課題

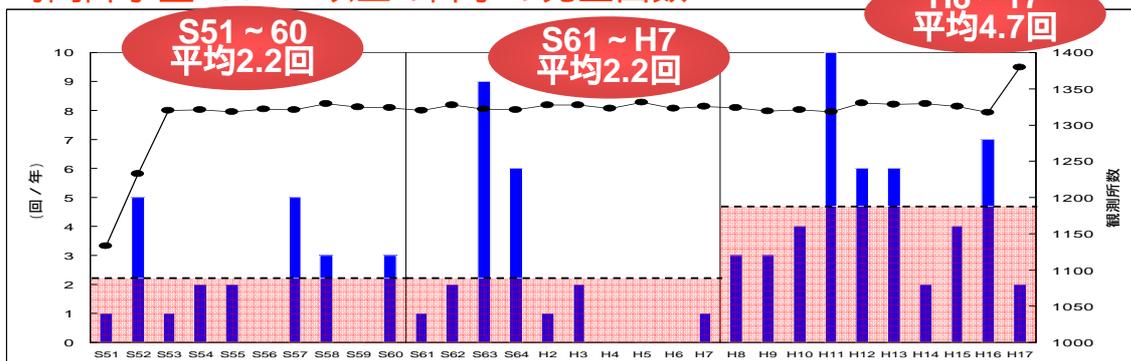
11

気候変動

1時間降水量50mm以上の降水の発生回数



1時間降水量100mm以上の降水の発生回数



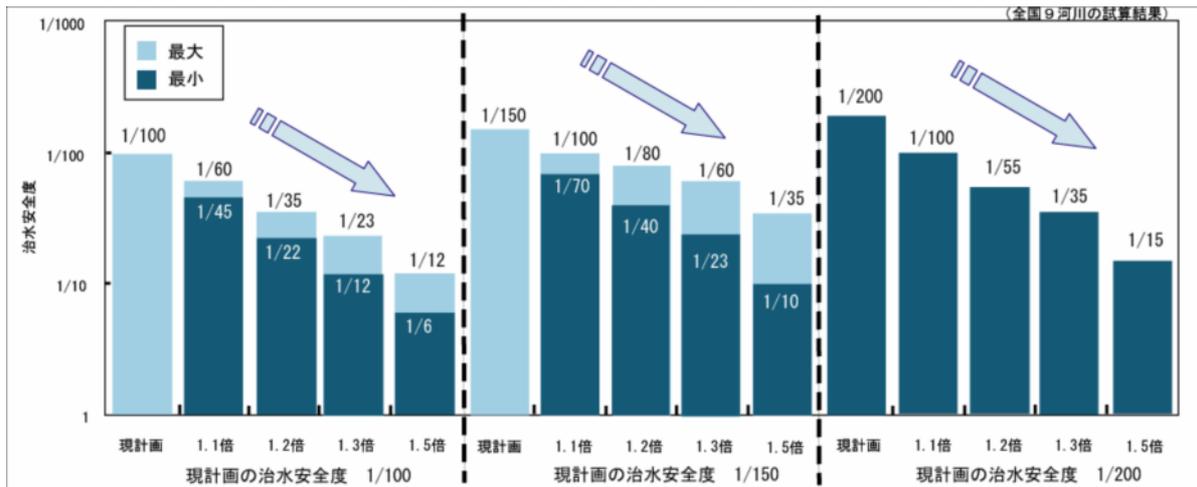
全国のアメダス地点約1300箇所の、1時間降水量の年間延べ発生件数

出典) 国土交通省HP

12

気候変動

100年後の降水量の変化が治水安全度に及ぼす影響



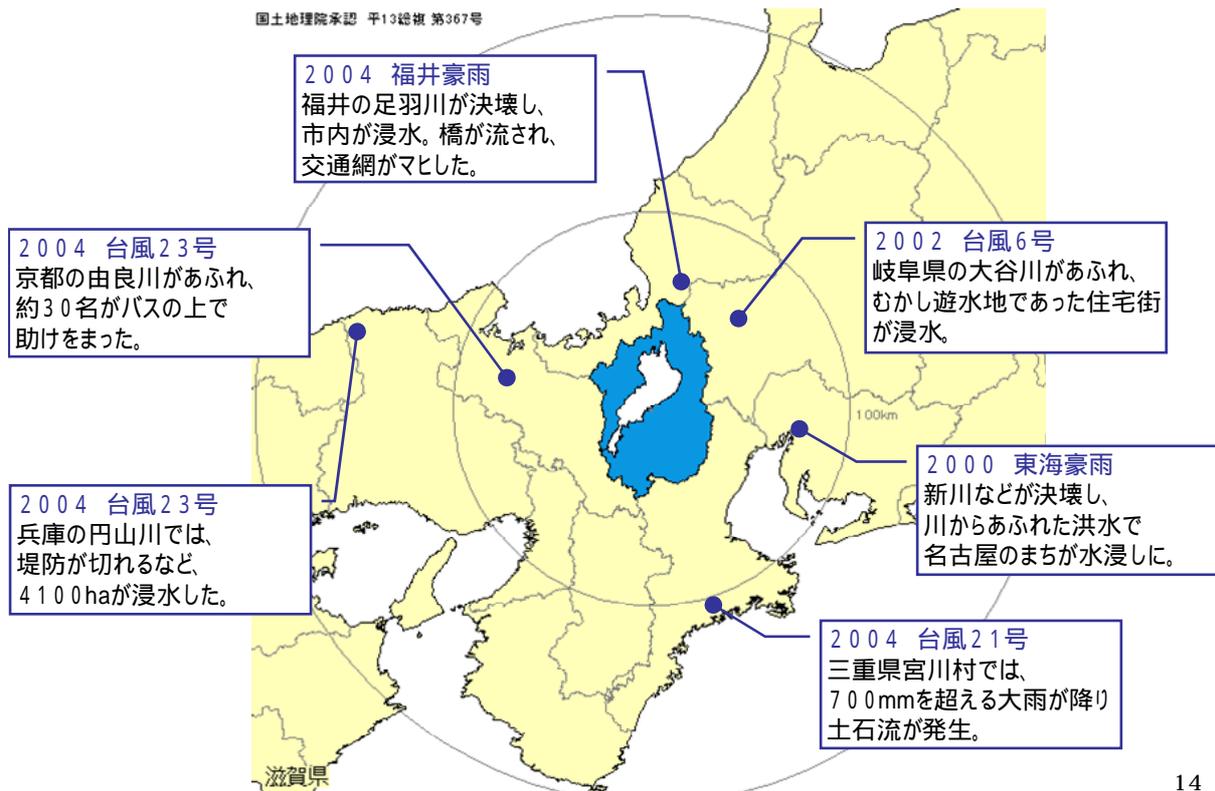
降水量の変化を予測すると、100年後には現在のおおむね1.1～1.3倍、最大で1.5倍程度を見込むことが妥当

降水量の変化によって、
現計画が目標としている治水安全度は著しく低下していく

出典)「地球温暖化に伴う気候変動が水関連災害に及ぼす影響について」H20.1 国土交通省資料

滋賀県の周辺で発生した近年の水害

国土地理院承認 平13総根 第367号



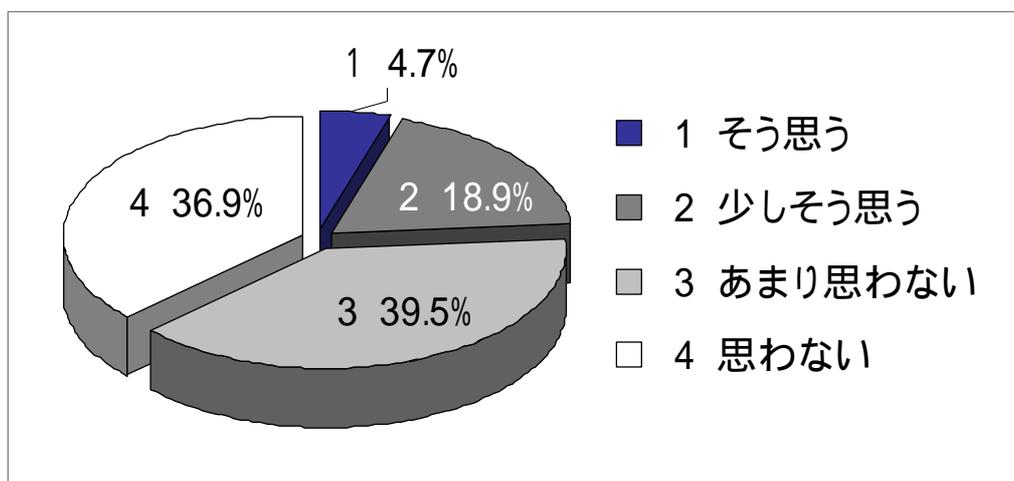
【住民の課題】

水害への危機感が薄れつつある。

15

県政モニターアンケートの結果

問：あなたは、今のお住まいが今後10年以内に洪水による被害を受けると
 思いますか？



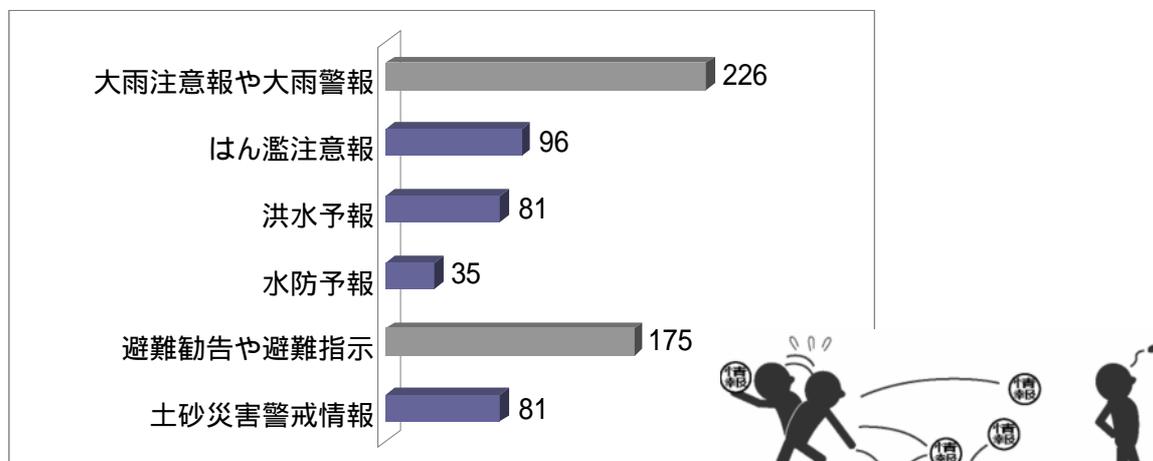
出典)県政モニターアンケート(H19.12)回答結果 回答者数:233人

- 洪水による被害を受けると「思わない」「あまり思わない」人の割合が約8割。

16

県政モニターアンケートの結果

問：水害や土砂災害の発生する危険性が高くなった時に出る情報のうち、あなたが知っているものすべてに をしてください。(複数回答可)



出典)県政モニターアンケート(H19.12) 回答結果 回答数:228人

- 大雨注意報・警報、避難勧告・指示に比べ、**はん濫注意情報、洪水予報、水防予報**を知っている住民が非常に少ない。

住民の意識

平成16年新潟・福島豪雨での住民の声

防災スピーカー、サイレンなどを設置して危険を早く知らせてほしい。**とにかく何も連絡なし。動けませんでした。**

避難勧告などが全く無く、情報が少なく、**どう行動をとっていいのか分からなかった。**

浸水が進んでも避難勧告がなく、避難できなかった。**市の責任は重い。**

片田敏孝・群馬大学助教授が行った「平成16年7月新潟豪雨災害に関する実態調査」のフリーアンサーより



住民の意識

平成16年新潟豪雨災害現地調査
金物工場で一人働く老人へのヒアリング

避難の理由を聞くも、老人は今でこそ旧式の工場の機械が如何に高性能で作業に欠かせなかったかを延々と語り続けた。

平成10年8月末東日本豪雨災害
郡山市避難困難者ヒアリング調査

「逃げろ」と言われても、家が流れてしまったらその後の人生はあまりにも辛い。爺さんと苦労して建てたこの家が流れるのだったら、私も一緒に流りたい。

防災講演会(2007.8 群馬大学片田教授)資料から転載

19

共助

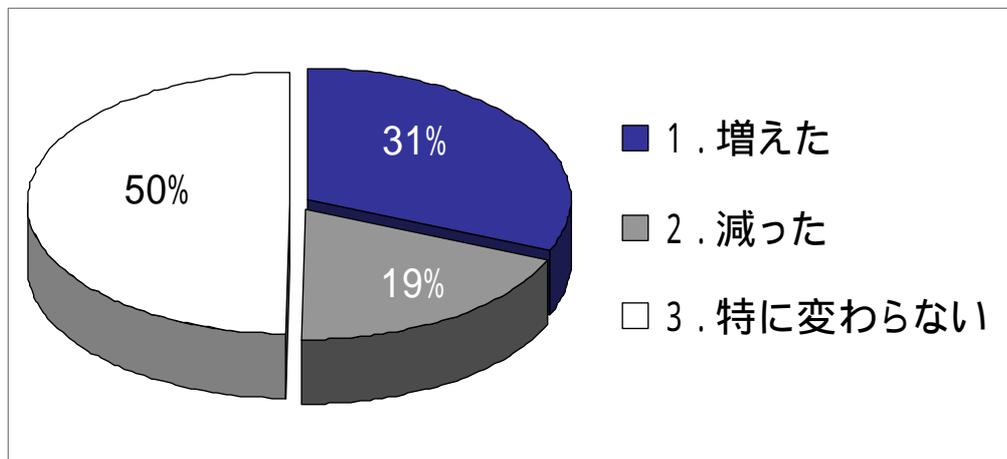
【地域の課題】

地域のコミュニティが弱くなっている。

20

地域防災力に関するアンケート調査結果

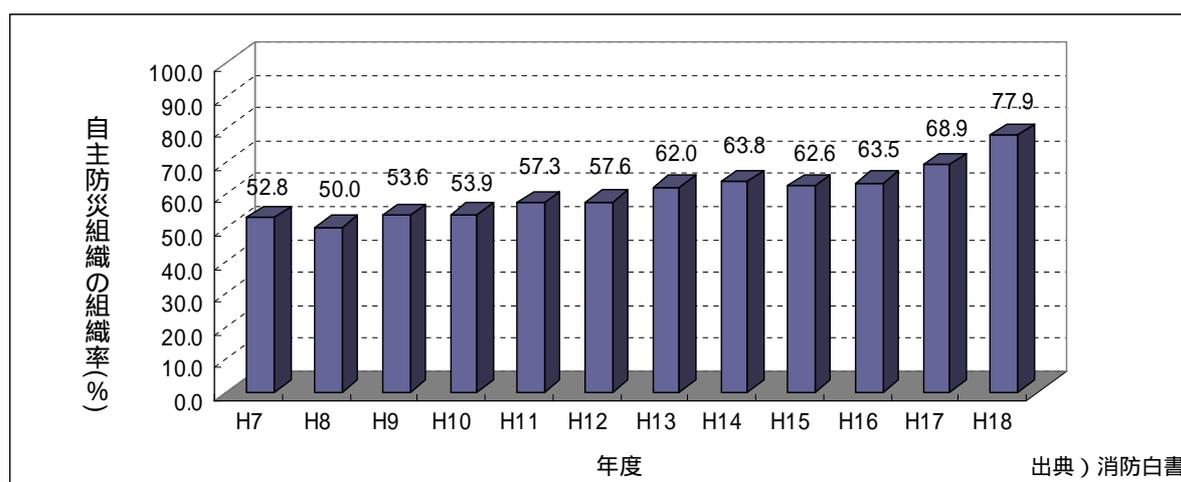
問: あなたの自治会では、昔(10年程度前)と比べて地域で実施される行事は増えましたか。それとも減りましたか。



出典) 地域防災力に関するアンケート(H20.2)回答結果 回答数:2,399

21

自主防災組織の組織率の推移



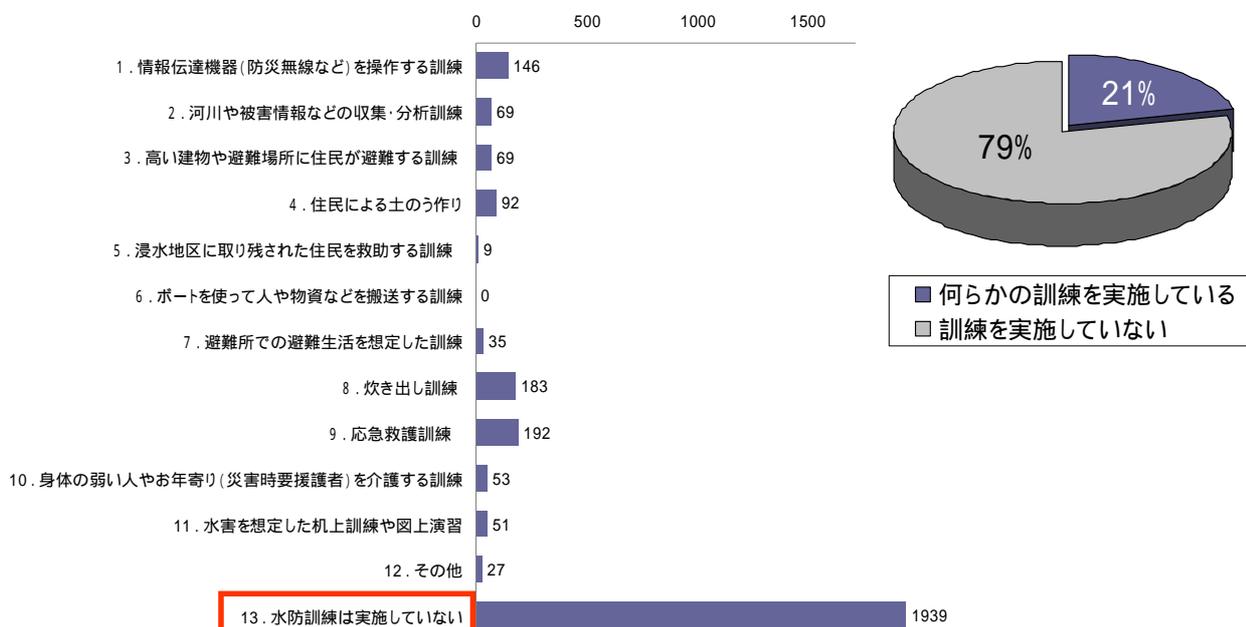
(自主防災組織が組織されている地域の世帯数 / 滋賀県下の全世帯数) × 100

滋賀県流域治水検討委員会(行政部会)で出された意見より

- 防災が地震に偏っている。自主防災組織も地震がメインになっている。
- 組織率は高いが、住民が何をしないといけないか、といったところまでいっていない。

地域防災力に関するアンケート調査結果

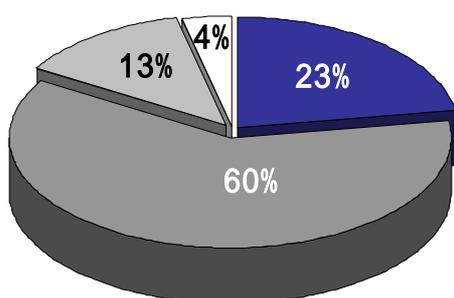
問 あなたの自治会では、水害に備えるための訓練（水防訓練）のうち、どれを実施していますか。行政主催の訓練への参加や自治会で実施している訓練を挙げてください。（複数回答可）



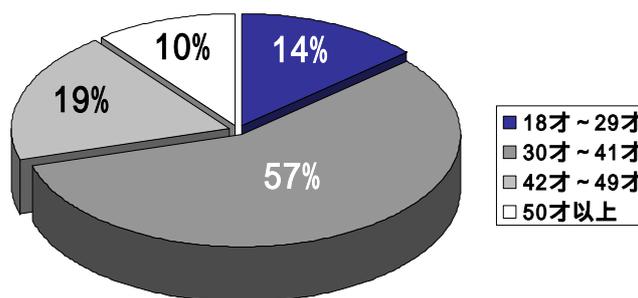
出典) 地域防災力に関するアンケート(H20.2)回答結果 自治会数:2,465 回答数:2,865

24

消防団(水防団)員の構成



昭和55年 9,443人



平成17年 9,366人

- 消防団員数は維持されているものの、高齢化が進行。
- 7割以上が被雇用者（サラリーマン団員）

